

## 会議議事録

会議名	2022年度第1回看護分野教育課程編成委員会
開催日時	2022年7月12日(火) 15:00~17:00
場 所	Zoom開催
出席者 (敬称略)	<p>① 企業等委員：大沼扶久子(公益社団法人東京都看護協会西部地区理事)、小林映子(社会福祉法人河北医療財団河北総合病院看護部長) (計2名)</p> <p>② 本校委員：橋本正樹(校長)、伊東由美(看護課学科長)、宮下明久(事務局参与)、岡本隆行(看護科教員)、渡邊明子(看護科教員) (計5名)</p> <p>③ 事務局：安里良美(計1名)</p> <p style="text-align: right;">(合計8名)</p>
欠席者	なし
配付資料	<p>① 事前送付：□資料1：2021年度第2回看護分野教育課程編成委員会議事録 資料2：前回委員会以降の主な経過報告 別添A：2022年度校務分掌、別添B：2022年度クラス担任一覧 資料3：看護科授業科目読み替え表 資料4：2022年度授業計画 資料5：2022年度実習計画 資料6：1年生 キャリアデザインI 資料7：キャリアデザイン学生記録 資料8：地域・在宅看護論シラバス 資料9：地域・在宅看護論実習I実習要項 資料10：地域・在宅看護論実習I指導要項</p>
議 長	伊東学科長
議題等	<p>1. 校長挨拶</p> <p>橋本校長より、新型コロナウイルスは第7波の報道がされており、引き続き予断を許さない状況が続いている一方、様々な場面で日常の生活を取り戻そうとする社会的な動きも出てきた。</p> <p>本校としては、適宜オンライン授業を組み込める態勢を整える一方で、感染症対策と熱中症予防に配慮しつつ、対面授業を実施している。</p> <p>学生や卒業生には、感染防止の正しい知識を持った上で、実習の現場やそれぞれの職場において、職業人として自信を持って行動してほしい。</p> <p>看護師養成教育については、まだしばらくは、実習教育の場面等で判断の難しい問題が発生することと思う。委員の皆様には、看護分野の仕事の現在、将来に関する専門家の視点から貴重なご意見と、本校カリキュラム等へのご提言をいただきたい、との挨拶が行われた。</p> <p>2. 前回委員会議事録の確認(資料1)</p> <p>伊東学科長より議事録(案)について諮り、追加、修正がないことが確認された。</p> <p>3. 前回委員会以降の主な経過報告(資料2)(説明者：宮下事務局参与、伊東学科長)</p> <p>資料2に基づき説明が行われ、確認、了承された。説明の詳細は別紙のとおり。</p>

<p>4. 2021 年度の活動報告</p> <p>①カリキュラム変更における履修科目の読替（伊東）（資料 3）</p> <p>②2022 年度授業計画および実習状況について（岡本、渡邊）（資料 4、5）</p> <p>各担当より資料 3～5 に基づき説明が行われ、確認、了承された。説明の詳細は別紙のとおり。</p> <p>5. 2022 年度の教育活動と学科運営について</p> <p>①キャリアデザイン I 進捗状況（伊東）（資料 6、7）</p> <p>②地域・在宅看護路カリキュラム計画 実習（伊東）（資料 8、9、10）</p> <p>資料 6～10 に基づき説明が行われ、確認、了承された。説明・質疑・意見の詳細は別紙のとおり。</p> <p>6. 次回日程、その他</p> <p>・2022 年度第 2 回委員会（2023 年 2 月 7 日）</p> <p>①2023 年度の教育活動と学科運営の進め方説明</p> <p>②2023 年度カリキュラム案へのご意見伺い 他</p> <p>次回の日程は、2023 年 2 月 7 日、15 時～17 時と決定し、予定している議題は上記①と②であるとの説明が行われ、確認、了承された。</p>
---

以上

## 2022 年度第 1 回看護分野教育課程編成委員会の主な討議内容

### 3. 前回委員会以降の主な経過報告（資料 2）

○宮下事務局参与より学生の在籍状況、退学状況について説明があった後、伊東学科長より以下の補足説明があった。

- ・今年度の入試日程は、従来より少し早めている。

### 4. 2022 年度の活動報告

#### ①カリキュラム変更における履修科目の読替（資料 3）

○伊東学科長より、資料 3 に基づき以下の説明が行われた。

- ・新旧カリキュラムの移行期であり、留年した学生は新カリの学生と一緒に授業を受けるため、読み替え表を示した。
- ・新カリの学生は卒業までに 109 単位の修得が必要になるが、旧カリの学生は入学時の規定単位（103 単位）で認定する。

#### ②2022 年度授業計画および実習状況について（資料 4、5）

○岡本教員より、資料 4 に基づき授業計画について説明が行われた。

- ・今年度は、今のところ対面授業にて計画どおり進行している。
- ・新カリへの変更を機に、「キャリアデザイン」を単位修得が必要な科目として位置づけた。

○渡邊教員より、資料 5 に基づき実習状況について説明が行われた。

- ・3 年生は 5 月 9 日から臨地実習を予定していたが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み最初のクールは学内での代替実習とし、5 月 30 日から人数制限をしながら臨地実習を開始した。
- ・実習を経験した 3 年生と 2 年生の感想からは、臨地で学べる喜びや命の尊さ、専門職としての責任の自覚などがうかがえる。
- ・新カリの 1 年生は、7 月後半から、地域で暮らす対象・看護の理解のため、包括支援センターを含めて施設に行かせていただく予定である。

### 5. 2022 年度の教育活動と学科運営について

#### ①キャリアデザイン I 進捗状況（資料 6、7）

○伊東学科長より、資料 6、7 に基づき以下の説明が行われた。

- ・学生が主体性を持った学び方ができるように設定している。
- ・毎回、終了後に振り返りとして授業のポイントや課題を書かせ、それに対して教員からコメントを返す。また、それを 1 つのファイルにして 3 年間の積み上げが分かるようにしている。

#### ②地域・在宅看護論カリキュラム計画 実習（資料 8、9、10）

○伊東学科長より、資料 8～10 に基づき以下の説明が行われた。

- ・地域・在宅看護論は、4 単位から 6 単位に増えた。
- ・基礎看護学の下に位置づけが変わったため、1 年生のうちに在宅の学習と実習が始まる。
- ・2 年生では、多職種との連携を通して視野を広げることを意識している。

○主な質問・意見等

質問・意見等	回答等
<p>□地域・在宅実習について、当院では中野区の学校と一緒に地域の調査をしたようだ。その後、基礎実習 I で私が講義しているが、1 年生なので具体的に結びつけることができないという印象はある。</p> <p>□実習の初日と最後に、実習の目的と何を学んだかを報告してくれる学校がある。目的を意識して実習に出ると、主体的な学びにつながるのではないか。</p> <p>地域・在宅看護では、しつけの授業や、人の家に入るときの態度など、社会人教育もつなげて考えるとよいと思った。</p>	<p>□基礎実習の中で話をされているということだが、地域と病院のつながりという点では参考になると思う。</p> <p>□私が担当している学生は、実習を始める前に、実習目標を科長に向けて読み上げ、実習が終わるときには、その成果を言わせるようにしている。各病棟の科長からは、ありがたい言葉をもらって学生は帰っている。</p> <p>□学生の発表する実習目標を聞いて、終わったときには達成状況を確認した上で細かくご指導いただけるので、学生にはきちんと伝わっている。</p>

以上